

## 2024FIM 世界耐久選手権“コカ・コーラ” 鈴鹿8時間耐久ロードレースレポート

7月21日 天候：晴れ  
コースコンディション：ドライ

厳しい暑さに見舞われた鈴鹿8耐決勝。青空のもと今年も11時30分にバイクに駆け寄るル・マン式スタートで始まった。

6番手グリッドからスタートしたSDG Team HARC-PRO.Hondaの國井勇輝は序盤トップ争いに加わる活躍をみせ、3番手につけていた。その後、4番手に下がるもののトップグループに追いつき周回を重ねていく。浦本修充も良いペースで走り上位をキープしていたが、マリオ・アジが1スティント目に出ていくとペースが上がらない。金曜日の転倒の影響で肩に痛みが出てしまっていたため、急きょ予定より早くピットインし、國井と交代することになる。

その後は、國井と浦本が交互に走るようになったが、厳しい暑さはライダーの体力を奪い、セーフティーカーも入らなかったため全力走行が続いた。レース終盤になると両ライダーも消耗してしまいペースを上げることができなかったが、最後は、浦本が何とかマシンをゴールまで運び9位でチェッカーフラッグを受けた。

SDGのサポートチームはDUCATI Team KAGAYAMAが4位。Team TARO PLUSONE with SDGが13位。SHINSYUREN With TOTECが24位。Honda Asia-Dream Racing with AstemoはDNF。



SDG Team HARC-PRO.Honda 國井勇輝選手



SDG Team HARC-PRO.Honda 浦本修充選手



SDG Team HARC-PRO.Honda マリオ・アジ選手



DUCATI Team KAGAYAMA



Team TARO PLUSONE with SDG



SHINSYUREN With TOTEC

